
e-balance 採用 新商品高速路線バス&観光バス 専用タイヤ「M139」の開発

東洋ゴム工業株式会社(社長:片岡善雄)は、高速路線&観光バス用タイヤの新商品「**M139**(エムイチサンキュー)」の開発を進めており、平成17年10月より全国で発売開始します。

発売サイズは、12R22.5 16PR の1サイズで、価格はオープン価格です。

高速路線バスや観光バスのタイヤは「安全性」が最重要性能であり、その耐久力の優位性、メンテナンス性、燃費性、乗客に対する静粛性などを重視して、Rib(リブ/縦溝)タイヤが多く使われています。

新商品「**M139**(エムイチサンキュー)」は、今回確立したトラック・バス用タイヤ新基盤技術「*e-balance*(イーバランス)」を採用する事により、これらの基本性能をさらに向上させる事が可能になりました。

高速路線バス&観光バス 専用タイヤ

**TOYO M139**

1. 主な商品特長

トラック・バス用タイヤ新基盤技術「**e-balance**（イーバランス）」※ の採用により、以下の特徴（＝ユーザーメリット）を提供する事が可能な商品となりました。

良好な耐偏摩耗性

新品時の良好なタイヤ形状を使用過程に於いて維持させ、特にフロント軸装着での偏摩耗の発生を抑制しました。これにより、タイヤメンテナンスに関わる工数を低減できます。

耐久力・耐摩耗性・燃費性 の向上

タイヤ内部歪みを全体的に低減する事で、従来は背反性能であった「耐久力」「耐摩耗性」及び「燃費性（転がり抵抗）」を、共に高いレベルで達成しました。

タイヤノイズの低減

新パターンとノイズ予測シミュレーションにより、騒音レベルの低いパターンを開発しました。

リム組み作業性の改善

ビード間隔を拡大する事によって、リム組換時のエア充填性を従来品比で改善しました。

※ トラック・バス用タイヤ新基盤技術「**e-balance**（イーバランス）」とは？

- ①タイヤ形状安定テクノロジー
- ②高剛性新ビードテクノロジー
- ③最適化シミュレーションテクノロジー「T-mode（ティーモード）」



[タイヤ形状変化予測／偏摩耗予測／トラック&バス車両挙動予測／ノイズ予測 etc のシミュレーション技術]

これら3つの新テクノロジーを駆使して、タイヤ内部歪みを低減させ、新品時から使用末期に至るまでの経時変化を抑えることにより、基本となる諸性能の大幅な底上げを可能にするトーヨー独自の新基盤技術です。

2. 発売サイズ

12R22.5 16PR

3. 発売予定

平成17年 10月

以上